

高梁市名誉市民

加計勉さんご逝去



―学園文化都市づくりの礎を築く―

本市の名誉市民で、加計学園、高梁学園の名誉理事長の加計勉さんが、4月30日午後11時28分、心不全のため倉敷市の病院で逝去されました。享年85歳。

加計さんは私学振興に力を注がれ、昭和60年には藍綬褒章を

受章、平成2年には岡山県三木記念賞、5年には全国日本学士会からアカデミア教育大賞、7年には岡山県文化賞受賞、13年には勲二等瑞宝章を授与されるなど、数々の榮譽に浴されました。

昭和36年、岡山市に加計学園を設立され、41年、本市が同学園に短期大学の設立を要請したことを受け、加計さんは翌42年、私財を投じて高梁学園を創設。順正短期大学と順正高等看護専門学校が開校しました。

61年には市議会に4年制大学誘致審議会、続いて62年には民間による大学誘致促進期成会が設立、市民挙げての運動が展開され、加計さんの大英断で、平成2年、吉備国際大学が開学しました。私学の建学精神による人材育成と、行政が求める地域振興を目的に相互が連携し設置された公私協力方式で、全国に先がけたものでした。

大学のあるまちとしてのイメージアップ、大学等の持つ知的財産の活用など、高梁学園の持つ活力と経済効果は計り知れないものがあります。

また、高梁学園が外国の大学と教育交流を進めている中で、学園が取り持った縁により、市はアメリカ合衆国オハイオ州トロイ市と国際姉妹都市縁組を締結し、主に中学生の相互派遣などの交流を進めています。

市は、こうした加計さんの功績に対して、8年、名誉市民に推たいしています。

加計さんの教育文化への限らない情熱と高梁への愛着は、現在、市が推進する「学園文化都市づくり」につながっています。謹んで、ご冥福をお祈りします。



平成2年に開学した吉備国際大学

生涯スポーツ社会の実現に向けて スポーツ振興計画を策定

市は、多くの市民の皆さんにスポーツを楽しみ、健康の保持・増進に役立ててもらうため、「高梁市スポーツ振興計画」を3月に策定しました。

計画は、「国」の「スポーツ振興基本計画」と「岡山県スポーツ振興計画」を踏まえた上で、昨年5～6月に実施した「スポーツ意識調査」の結果に基づく市民の皆さんのスポーツや健康づくりの実態を反映させました。その概要についてお知らせします。

計画の期間

平成20年度から29年度までの10年間とします。



み樂しめるスポーツ振興を目指します。

計画の内容

計画推進のための具体的な取り組みとして、4つの基本施策を定めました。

▼生涯スポーツ社会の実現に向けたスポーツ環境の整備充実

各種スポーツ団体の主体的な活動の支援や連携強化により、既存スポーツ環境の充実を図ります。また、あらゆる世代が日常的にスポーツを行う場として期待される「総合型地域スポーツクラブ」の育成を推進します。

▼質の高いスポーツ指導者の確保と競技力の向上

個人の特性や各年齢期の発達段階に応じた適切な指導のため、一貫指導体制の整備、優れた指導者の養成・確保に努め、レベルの高い技術に触れる機会の充実を図ります。

▼子どもの運動に親しむ資質・能力や体力を培う学校体育・ス

ポーツの充実

子どもたちの豊かなスポーツライフの実現に向けて、学校・地域・スポーツ団体の連携を推進するとともに、学校体育指導者や施設の充実、運動部活動の改善・充実を図ります。

▼安全で気軽に利用できる施設および拠点となるスポーツ施設の充実整備

誰もが気軽に利用できる地域スポーツの拠点となる公共スポーツ施設の充実のため、既存施設の効率的な維持管理に努めます。また、学校体育施設の活用促進を推進します。

この計画により、市民の皆さんが生活の一部としてスポーツに親しむことができる環境づくりを推進し、スポーツ情報の発信に努めていきます。

皆さんも気軽に、また積極的にスポーツ活動にご参加ください。

■問い合わせ スポーツ振興課
スポーツ振興係(☎)0245)

計画の基本理念

「ひとりスポーツ実施の推進による心身の健康保持増進とスポーツによる交流のまちづくり」とし、達成感と連帯感、夢と感動といったスポーツの持つ本来の意義をとらえながら、生涯にわたり健康な生活を営むとともに、いつでもどこでも親し